

Data Contents

	経済動向
31	■ 九州の鉱工業生産動向
32	■ 福岡県の最近の経済動向
34	■ 熊本県の最近の経済動向
36	■ 長崎県の最近の経済動向
38	■ 佐賀県の最近の経済動向
	経済指標
40	■ 全国のデータ
41	■ 福岡県のデータ
42	■ 熊本県のデータ
43	■ 長崎県のデータ
44	■ 佐賀県のデータ
45	海外拠点紹介



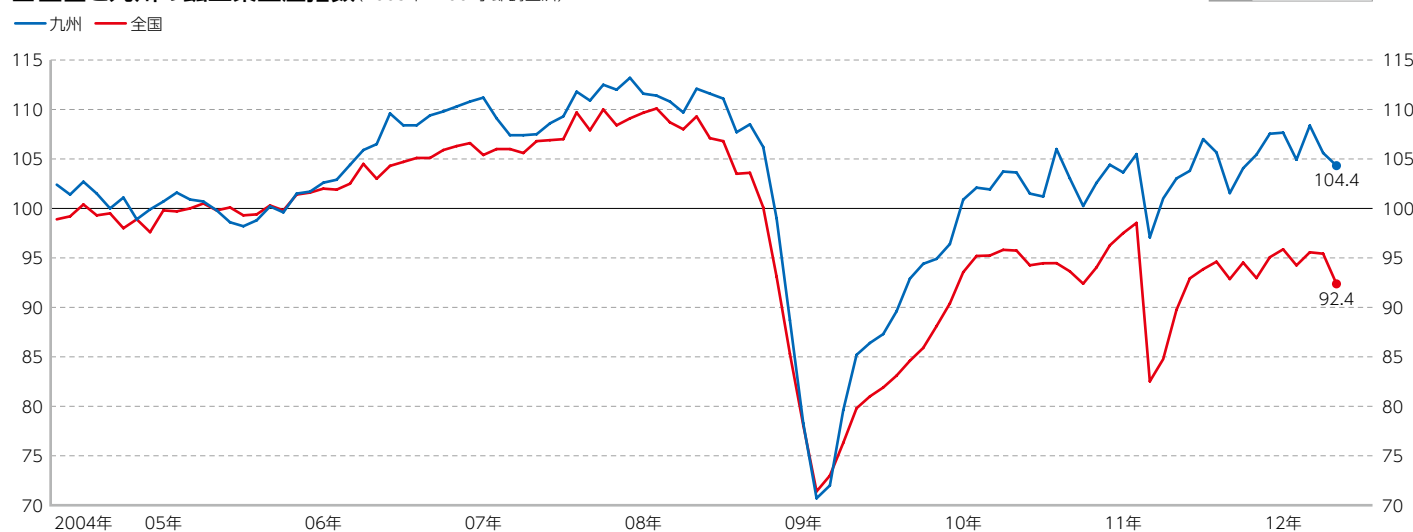
九州の鉱工業生産動向

基調判断 | 生産は横ばい傾向

2012年5月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、一般機械や海外向け産業用ロボット等が好調だった一方で、化学や電気機械が、生産設備のメンテナンスにより減産となる等、前月比1.2%低下の104.4と2ヵ月連続で低下しました。主力の輸送機械や電子部品・デバイスに大きな変化はなく、生産指数は横ばい傾向となっています。

■全国と九州の鉱工業生産指数(2005年=100・季節調整済)

出所 九州経済産業局

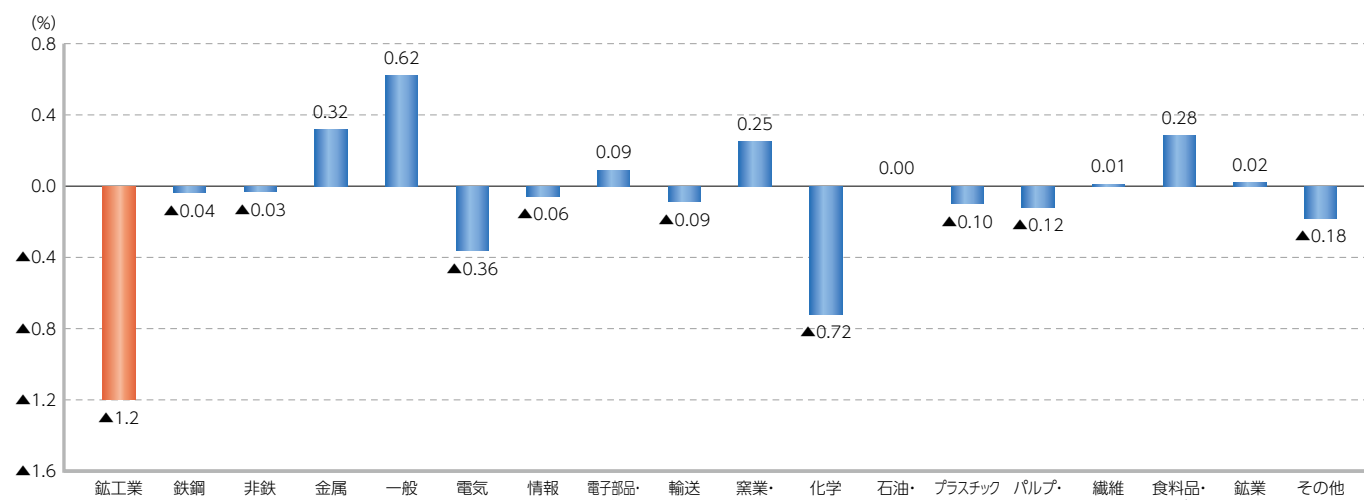


業種別動向 | 一般機械、金属製品が上昇した一方、化学、電気機械が低下

業種別の寄与度をみると、海外向け石油精製プラントや海外工場向け産業用ロボットが増産となった一般機械の他、公共工事向けの橋梁や鉄骨が増産となった金属製品が上昇した一方で、化学がプラスチック原料の生産設備、電気機械が太陽電池部品の生産設備において定期メンテナンスがあった為に低下し、マイナスとなりました。

■業種別寄与度(鉱工業生産指数)

出所 九州経済産業局



福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

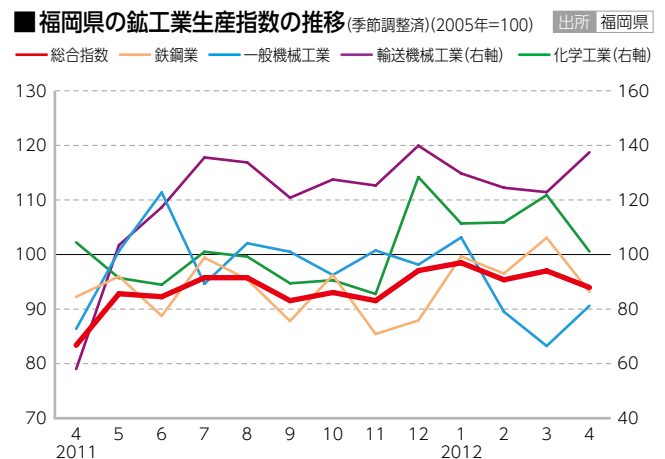
生産活動については、鉄鋼が一部工場のメンテナンスにより減産となり低下したものの、自動車生産が好調な輸送機械や一般機械が上昇する等、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

消費面では、大型小売店販売額は、衣料品が低調だったものの、高額商品等に動きがあった他、店舗数が前年比で増加していることにより、前年並みの水準となっています。住宅建設は、福岡市西部で貸家が増加したことにより、前年を上回りました。

1.生産活動 | 総合指数は2ヵ月ぶりに低下

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は94.0となり前月比2.9%低下しました。

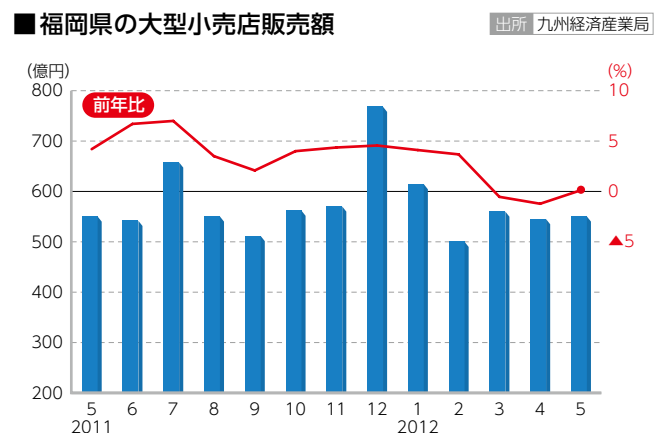
主要業種では、前月増産となった医薬品の反動減があった化学や、一部工場で定期メンテナンスがあった鉄鋼が減産となった一方で、エコカー補助金を背景に自動車生産が好調な輸送機械に加え、産業用ロボットが増産となった一般機械が上昇しました。



2.大型小売店 | 販売額は前年並みの水準

5月の大型小売店販売額は、前年同月比0.1%増の550億円で、3ヵ月ぶりに前年を上回りました。

衣料品が振るわなかったものの、高額商品や化粧品、旅行関連商品に動きがあった他、スーパーの店舗数が前年比8店舗増加したことにより、販売額合計は前年並みの水準となりました。



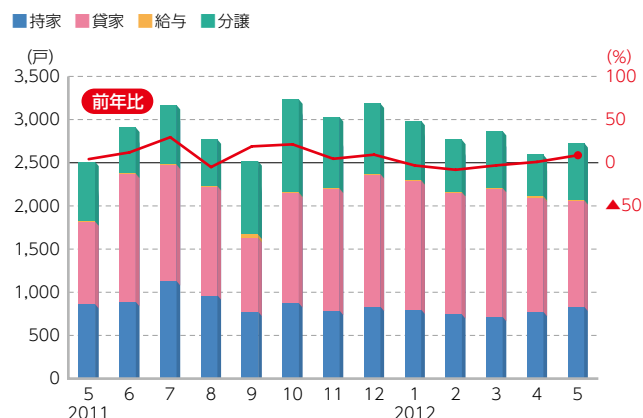
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を上回る

5月の新設住宅着工戸数は、2,727戸と前年同月比8.6%増加し、2ヵ月連続で前年を上回りました。

持家、分譲がともに前年並み水準を維持したことに加えて、貸家は、福岡市西部の地下鉄沿線を中心に好調な着工が続いており、全体で前年を上回りました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



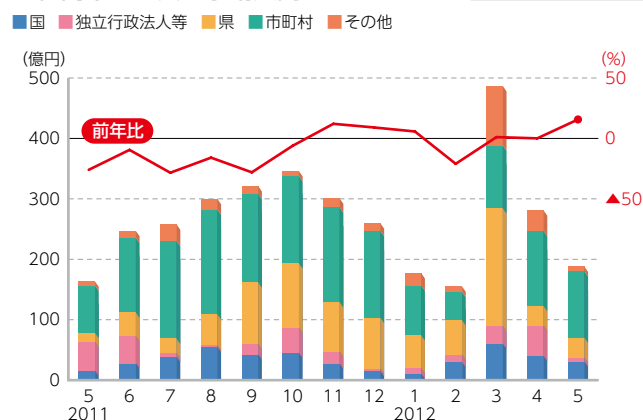
4.公共工事 | 請負金額は3ヵ月連続で前年を上回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比40.8%増の445件、金額は同15.2%増の188億円となり、請負金額は3ヵ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、「独立行政法人等」が減少した一方で、下水管の敷設工事等の大型案件があった「市町村」の他、「国」、「県」も増加しました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を下回る

6月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数は前年同月比48.8%減の21件、負債総額は同95.7%減の21億円となりました。

製造業で約5億円の大型倒産があったものの、金融円滑化法の効果等により倒産件数が低水準となったことや、前年に400億円を超える大型倒産が発生したことから、負債総額は前年を下回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いているものの一部に減速傾向が見られる

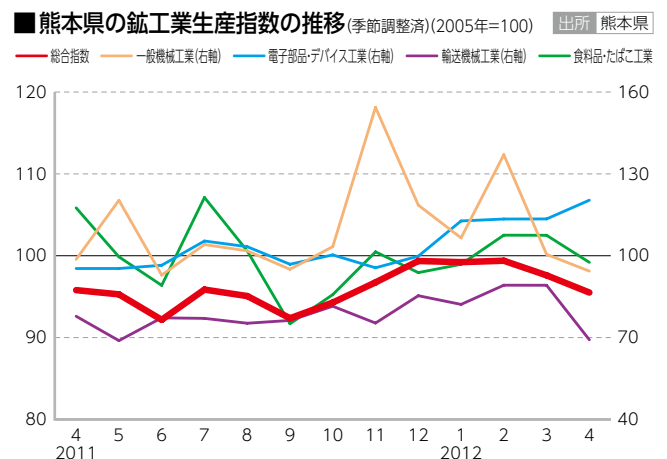
生産活動については、スマートフォン向け半導体集積回路が好調を維持している電子部品・デバイスが上昇する等、緩やかな持ち直しの動きが続いていますが、産業用ロボットが減産となった一般機械や輸送機械が低下しており、一部業種に減速傾向が見られます。

消費面では、大型小売店販売額は、高額商品に動きがあった他、新店舗開店効果により前年を上回っています。住宅建設は貸家を中心に好調を維持しており、前年を上回りました。

1.生産活動 | 総合指数は2ヵ月連続で低下

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は95.7となり、前月比2.0%低下しました。

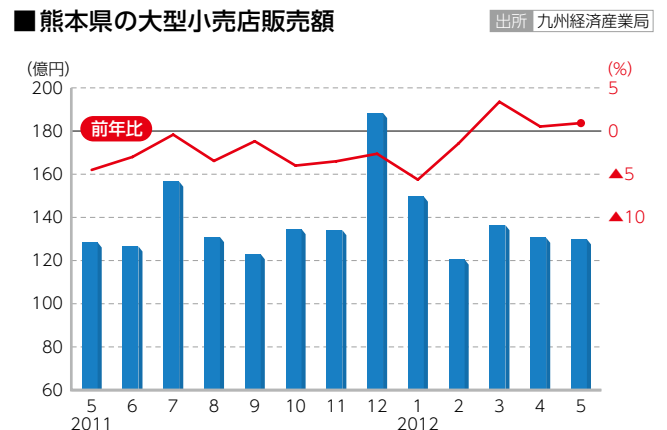
主要業種では、電子部品・デバイスがスマートフォン向け半導体集積回路の好調により上昇した一方で、産業用ロボットが減産となった一般機械や、輸送機械が低下しました。



2.大型小売店 | 3ヵ月連続で前年を上回る

5月の大型小売店販売額は、前年同月比1.0%増の130億円と、3ヵ月連続で前年を上回りました。

衣料品が低調だったものの、高額商品に動きがあった他、昨年7月のスーパー開店効果もあって飲食料品が増加する等、全体としては前年を上回っています。



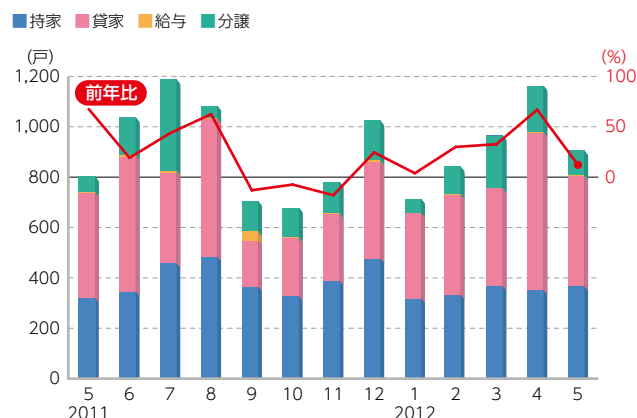
3.住宅建設 | 6ヵ月連続で前年を上回る

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比12.7%増の905件と6ヵ月連続で前年を上回りました。

分譲が、マンションの在庫調整の進展により引き続き好調な他、貸家が熊本駅周辺の賃貸需要の活発化により増加する等、全体でも前年を上回っています。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



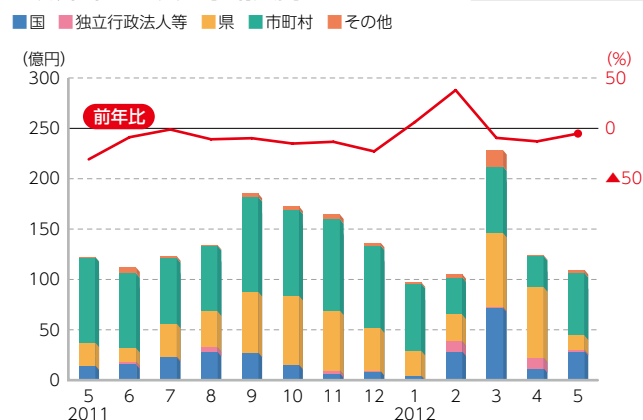
4.公共工事 | 請負金額は3ヵ月連続で前年を下回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比4.5%減の213件、金額は同5.7%減の109億円となり、請負金額は3ヵ月連続で前年を下回りました。

発注者別では、トンネル新設工事等の大型案件があった「国」は前年を上回ったものの、「県」や「市町村」が前年を下回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



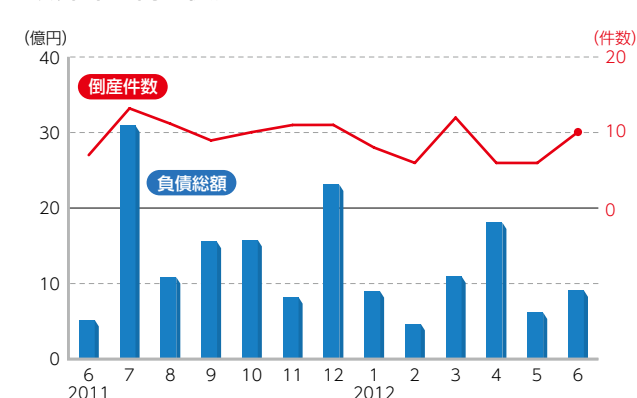
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を上回る

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比42.9%増の10件、負債総額は同72.7%増の9億円となりました。

小売業で約4億円の大型倒産があった他、販売不振等を原因とする倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 緩やかな持ち直しに向けた動きが見られる

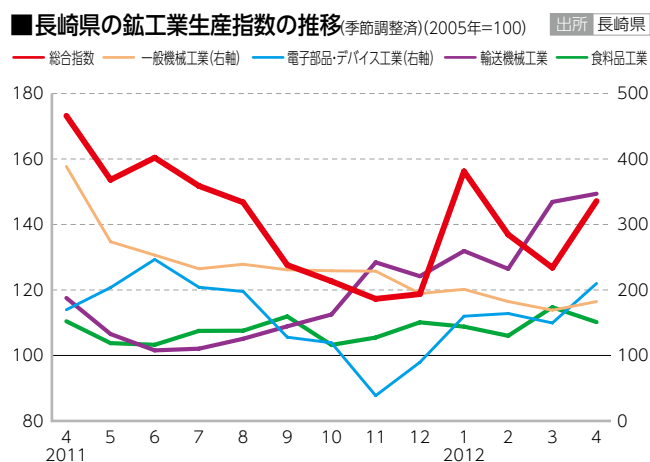
生産活動については、食料品の生産水準が低下した一方で、スマートフォン向け半導体集積回路が好調な電子部品・デバイスの他、造船が上昇する等、緩やかな持ち直しに向けた動きが見られます。

消費面では、大型小売店販売額は、昨年的大型百貨店閉店の影響が続いており、10ヵ月連続で前年を下回っています。住宅建設については、持家や長崎市中心部で好調な分譲が前年を上回りました。

1.生産活動 | 総合指数は3ヵ月ぶりに上昇

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は147.3となり、前月比16.0%上昇しました。

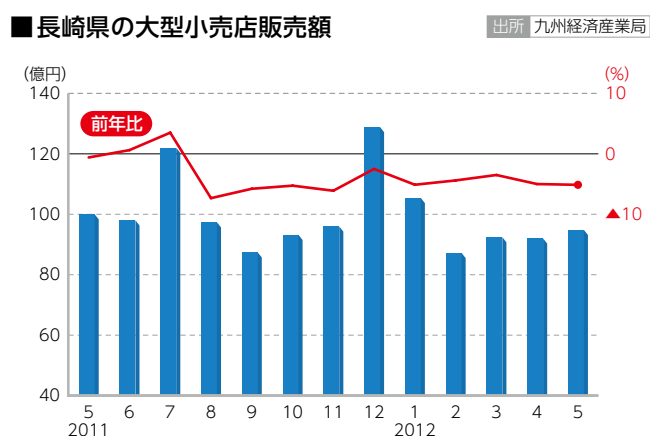
主要業種では、清酒等が減産となった食料品が低下した一方で、スマートフォン向け半導体集積回路が増産となった電子部品・デバイス、造船が安定した操業を続ける輸送機械が上昇しました。



2.大型小売店 | 10ヵ月連続で前年を下回る

5月の大型小売店販売額は、前年同月比5.2%減の95億円と、10ヵ月連続で前年を下回りました。

飲食料品は増加したものの、昨年7月末の百貨店閉店の影響が大きく、衣料品を中心に全般的に低調に推移しています。





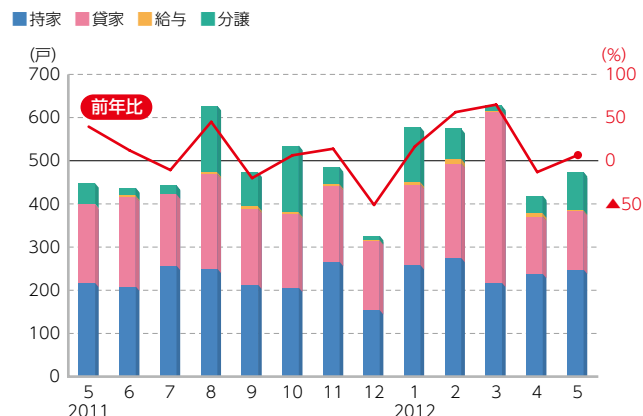
3.住宅建設 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比5.8%増の474戸と2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

貸家が減少した一方で、長崎市中心部の分譲マンションに加え、佐世保、諫早、大村地域の分譲戸建が好調な他、持家が増加したことにより前年を上回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



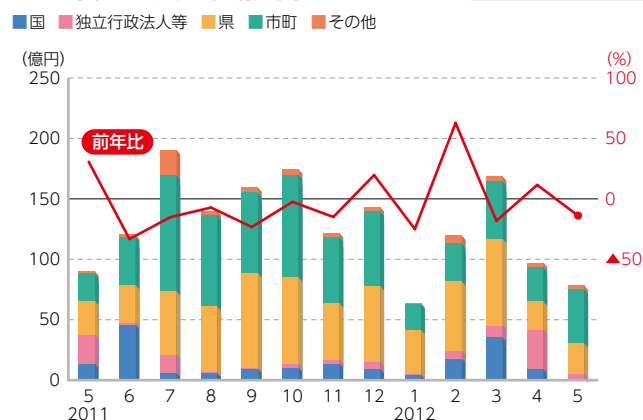
4.公共工事 | 請負金額は2ヵ月ぶりに前年を下回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比14.9%減の149件、請負金額は同13.2%減の78億円となり、2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

発注者別では、学校関連や体育館等の大型工事があった「市町」が大幅に前年を上回った一方で、「国」や「独立行政法人等」は減少しました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



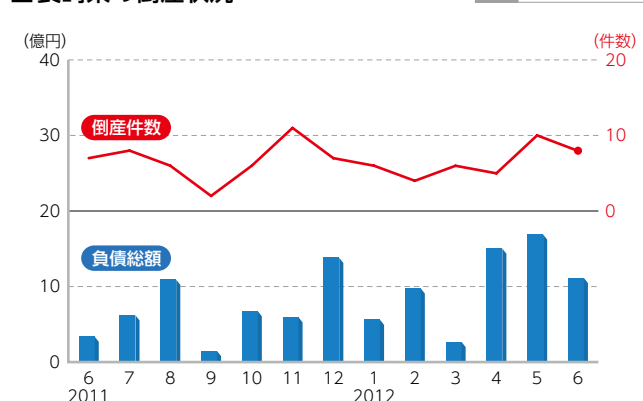
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を上回る

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比14.3%増の8件、負債総額は同3倍超の11億円となりました。

建設業で約8億円の大型倒産があった他、販売不振を主因とした、1億円を超える倒産が2件発生したことにより、負債総額は前年を上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



※7月号の長崎県企業倒産について誤りがございました。
「旅館業で約6億円」と記載しておりましたが、
「製造業で約5億円」の誤りでした。
訂正してお詫びいたします。

佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが続いている

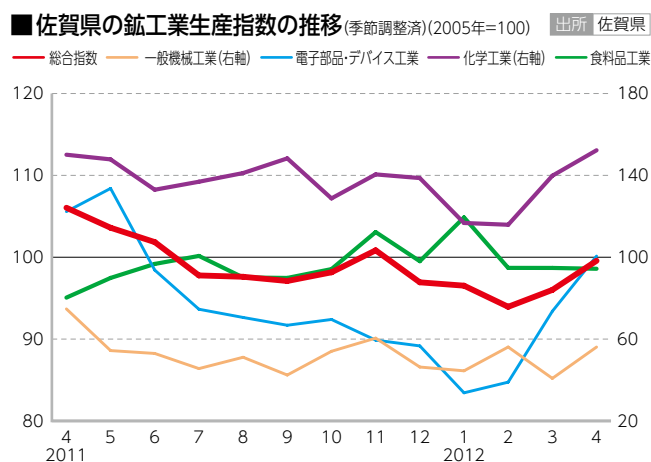
生産活動については、食料品の生産水準が若干低下したものの、化学や電子部品・デバイス、一般機械が上昇する等、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

消費面では、大型小売店販売額は、衣料品や食料品が振るわなかった他、昨年の店舗閉鎖の影響により10ヵ月連続で前年を下回りました。住宅建設は、持家・貸家が堅調で、前年を上回っています。

1.生産活動 | 総合指数は2ヵ月連続で上昇

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は99.6となり、前月比3.7%上昇しました。

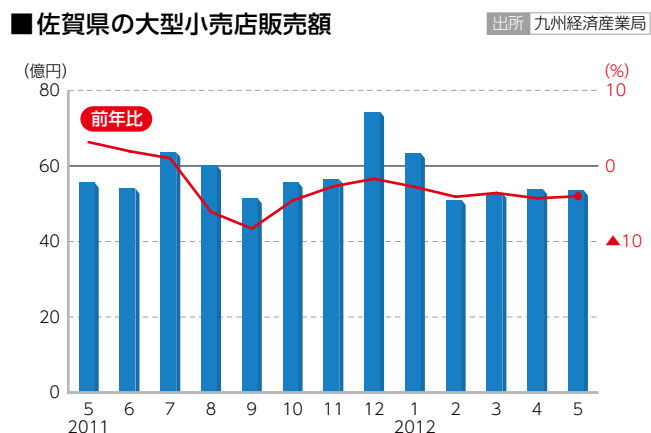
主要業種では、食料品の生産水準が若干低下したものの、化学や電子部品・デバイス、一般機械が上昇したことが、プラスに寄与しました。



2.大型小売店 | 10ヵ月連続で前年を下回る

5月の大型小売店販売額は、前年同月比3.9%減の54億円と、10ヵ月連続で前年を下回りました。

昨年6月のスーパー閉店の影響が続いている他、主力の衣料品や飲食料品を中心に多くの品目が振るわず、販売額は前年を下回りました。





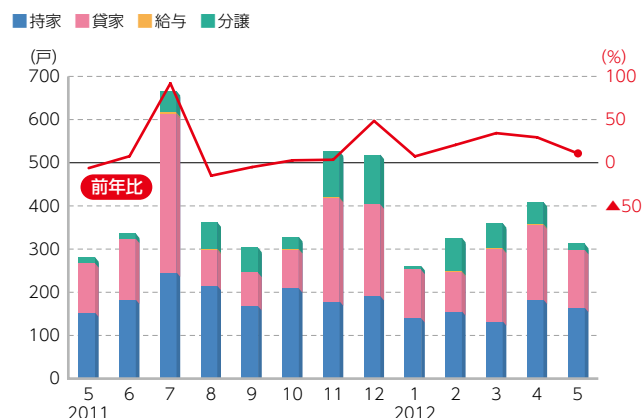
3.住宅建設 | 8ヵ月連続で前年を上回る

5月の新設住宅着工戸数は、312戸と前年同月比11.0%増加し、8ヵ月連続で前年を上回りました。

分譲は横ばいで推移し、住宅取得支援制度の効果等を背景として、持家、貸家ともに増加したことにより、全体としても前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



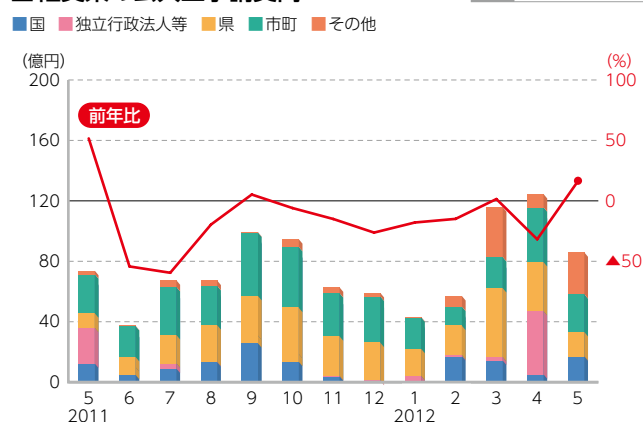
4.公共工事 | 請負金額は2ヵ月ぶりに前年を上回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比2.1%減の137件、金額は16.6%増の86億円となり、請負金額は2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

発注者別では、「独立行政法人等」が前年の反動で減少した一方、「その他」が病院関連の大型工事があり大幅に増加した他、「国」や「県」でも増加しました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を上回る

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比33.3%増の4件、負債総額は4億円となりました。

販売不振を要因とした1億円を超える倒産が2件発生し、件数、負債総額ともに前年を上回っています。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

